



音声式



J108

一酸化炭素警報機

取扱説明書



この度は本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
または、大事にご保管ください。

音声式一酸化炭素警報機

- 本製品はスマート音声の一酸化炭素検知器です。
精巧な技術を採用し、音声チップ内蔵、一酸化炭素濃度を表示できます。
- 必ず、本取扱説明書をよくお読みになってから、本製品をご利用ください。本警報器は一酸化炭素のみ探知・測定できます。また、本体に装着している一酸化炭素電気化学式センサは消耗品であり、定期に点検（動作確認）を行ってください。なお、動作確認方法は本取扱説明書の【P7.動作機能のチェック】ご確認ください。
- 本製品は電気化学原理で動作する装置です。本製品の警報値には日本産業標準調査会(JISC)の一酸化炭素警報器の許容範囲内の誤差がございました。

表 2 計測器の性能

項目	性能	試験方法
繰り返し性	最大目盛地の $\pm 2\%$	7.4のA)
ゼロドリフト	最大目盛地の $\pm 2\%$	7.4のB)
スバンドリフト	最大目盛地の $\pm 2\%$	7.4のC)
指示誤差	最大目盛地の $\pm 4\%$	7.4のD)
最小検出限界	最大目盛地の1%以下	7.4のE)
応答時間	240S以下	7.4のF)
干渉成分の影響	最大目盛地の $\pm 5\%$	7.4のG)
試料ガス流量の変化に対応する指示値の安定性	最大目盛地の $\pm 2\%$	7.4のH)
電源電圧に対する指示値の安定2	最大目盛地の $\pm 2\%$	7.4のI)
耐電圧	異常を生じてはならない	7.4のJ)
絶縁抵抗	5M Ω 以上	7.4のK)

商品の確認



本体



(イメージ図)
単4電池* 3本



取扱説明書



メッシュ袋



ホルダー



ストラップ

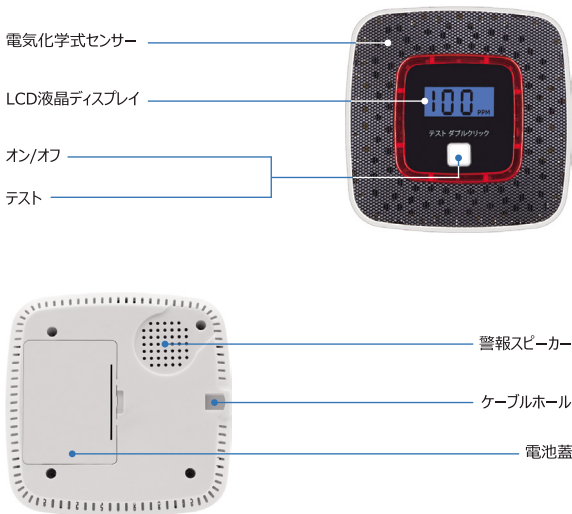
一、商品仕様

商品名：音声式一酸化炭素警報機（J108）

用途：本製品は一酸化炭素（CO）の漏れが発生した場合の警報装置です。

※ COは血液中の酸素輸送の担い手であるヘモグロビン（HB）と容易にかつ強固に結びつき、酸素輸送能力を低下させます。このときヘモグロビンとCOが結びついてCOHBとなり、血液中のCOHB濃度が25%程度で障害が発生するといわれています。本警報器は、電気化学式センサにてCO濃度を推定して、CO設定濃度（単位:PPM）以上になったときに、警報します。

製品構成



二、ご使用上の注意事項

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みいただき、大切に保管してください。

- 2.1 この製品には精密部品が含まれているため、分解、改造や針金などの異物を挿入しないでください。落下などの衝撃を受けた場合、故障する可能性があります。
- 2.2 1ヶ月に1回程度、警報器の定期点検を行ってください。
点検内容:掃除とセンサー機能テスト。
- 2.3 この製品は一酸化炭素のみ測定できます。本体に装着している一酸化炭素電気化学式センサは消耗品であり、定期に点検（動作確認）を行ってください。定期点検しないまま利用すると、万が一、電気化学式センサが機能しなかったことにより安全事故が発生する可能性があり、十分に気を付けてください。なお、動作確認方法は本取扱説明書の【P7.動作機能のチェック】をご確認ください。
- 2.4 洗剤や溶剤で拭いたり、芳香剤、発酵、塗料、他のエアゾールなどを警報器に近づけないでください。誤作動のほか、正常の一酸化炭素を測定できなくなるおそれがあります。
- 2.5 電池電圧が低下している場合、すみやかに電池交換を行ってください。長期使用しない場合、必ず電池をはずしてください。
- 2.6 この製品は事故の発生を減らすことができますが、絶対確実であるとは限りません。製品を正しく使用するだけでなく、注意を払い、安全上の注意を強化する必要があります。この製品はあくまでも一酸化炭素の警報機で、事故を100%回避できる保障ではございません。事故回避するために、定期的に窓を開ける習慣をつけたり、避難練習、一酸化炭素中毒時の救急対策を研修したり、またそのほかの事故回避するためにの対策も行う必要がございます。

三、商品スペック

仕様	内容	説明
型番	J108	ブラック(J108-C-BLK) ホワイト(J108-C-WH)
測定方法	電気化学式センサ	COのみ測定可能
動作電圧	3.0V～4.5V	単4電池 3 本対応
静止電流	<80uA	
ピーク電流	<80uA	
測定範囲	30ppm～999ppm	30PPM未満の場合はLED画面に0PPMに表示されます。
検知濃度範囲	50ppm～999ppm	詳細については、警報規則を参照してください
起動時間	30秒	電源を入れるとカウントダウンします
反応時間	30秒以内	一酸化炭素を検知してから警報の開始までに時間が必要です。警報方法については、警報規則を参照してください。
使用温度範囲	0～50℃	高温環境に使う際に、一酸化炭素警報器が燃えるところに近く置かないようにご注意ください
使用湿度範囲	10%～95%RH	(結露しないこと)
警報音量	約85db	
重量	約100g	
サイズ	9.5cm×9.5cm×2.5cm	
センサー消耗	2 年間	電気化学式センサは消耗品であり、設定環境（湿度、温度、一酸化炭素濃度など）によって消耗速度が異なります。定期的に機能点検する必要があります。 点検方法については、本書の【P7.動作機能のチェック】の説明を参照してください。

四、操作説明

電源入れ

電池入れた後、【テスト ダブルクリック】ボタンを3秒間押し、電源が入れます。

『音声式一酸化炭素警報器をご利用いただきありがとうございます、準備中です、30秒お待ちください。』との音声ガイドが流れてから準備モードに入ります、30秒後は液晶画面に「OPPM」と表示されます、一酸化炭素警報器が通常動作状態になり、空気中の一酸化炭素濃度を自動で測定できます。

電源切る

電源ONの状態、【テスト ダブルクリック】ボタンを3秒間押し、液晶画面に過去最高の一酸化炭素(CO)濃度値が表示され、警報器の電源がオフになります。

警報音を閉める

【テスト ダブルクリック】ボタンを3秒間押します。

待機状態

一酸化炭素警報器を起動後、数分ほど待と、待機状態になります、赤いランプが30秒ごとに1回が点滅します。

LCD液晶ディスプレイ表示

待機状態で【テスト ダブルクリック】ボタンをクリックすると、インジケータライトとLCD液晶ディスプレイが点灯し、約3秒後自動的に消灯し、警報器が待機状態に戻ります。

電池交換

警報器の電池電圧が低下の場合、警報器は『電池の残量が不足しています、早めに電池を交換してください。』との音声ガイドでお知らせします。その場合、電池交換してください。

警報ルール

濃度値	持続時間	警報状況
50PPM	約60MIN	警報音声ガイド 警報ブザー 赤いランプ点滅 警報音声ガイド内容は： 『一酸化炭素濃度が上昇しています、窓を開けて換気してください。』
100PPM	約10MIN	
200PPM	約3MIN	
300PPM	直ちに、すぐに	

動作機能のチェック

電源入れた後、待機状態で【テスト ダブルクリック】ボタンを2回押して液晶画面に過去最高の一酸化炭素(CO)濃度値が表示されます。

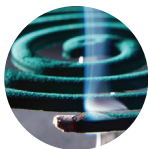
同時に、赤いランプが点滅し、「一酸化炭素濃度が上昇しています、窓を開けて換気してください。」という警報ガイダンスが流れれば、この機械の動作が正常となります。

- ※赤いランプが点滅する場合、【テスト ダブルクリック】を再度押すと、過去最高の一酸化炭素(CO)濃度値が削除されます。【テスト ダブルクリック】ボタンを押さない場合、過去最高の一酸化炭素(CO)濃度値がそのまま保存され待機状態に戻ります。
- ※過去最高の一酸化炭素(CO)濃度値が環境に応じて、随時更新されます。

[注意]：長期間未使用の場合、使用前に、一酸化炭素に近づけて、実際に検知することを確認してください。

主なチェック方法

自動車の排気ガスでテストする場合は、車種によって、
車の排気ガスが不安定で正確にチェックできない恐れがあります。
下記の線香とタバコでテストすることをおすすめします。



蚊取り線香の煙



タバコの煙

方法：密封された透明な箱あるいはビニール袋に線香の煙とタバコの煙を溜め、一酸化炭素チェッカーと一緒に閉じ込めます。その後、一酸化炭素の濃度の変化を確認し、製品が正常に動作しているか確認してください。

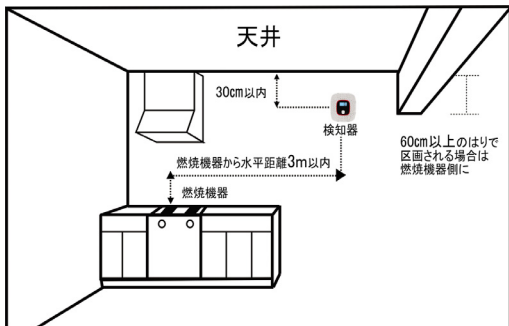
※火器を取り扱う場合は、ビニール袋が燃え上がらないようにご注意ください。

※一酸化炭素中毒の恐れがあるため、屋外など空気がよく循環する場所で行ってください。
確認の際には十分にお気をつけください。

五、警告

- 5.1 警報器の設置場所：一酸化炭素ガスは空気より軽いので、警報器は天井（家の上部）から約30CM離して設置してください。空気の流れが良い場所おすすめです。キャンプの場合は、テント内にかけてください。

取り付けかた



- 5.2 キャンプの場合は、テント内側上の棚に設置がベストです。

テントの換気口を離して設置してください。

- 5.3 設置禁止位置：コーナー、タンス内、その他空気循環がわるい場所、ガレージ、調理場などの煙、蒸気などのある場所。

- 5.4 次のような場所には取り付けしないでください。

A：内装中の部屋。

B：内装・室内壁を塗装した後、5日程度全室換気・通風をしていない場合。

C：家の中で木製の家具を作り、または新しい木製の家具を購入してから、3日程度全室換気・通風していません。

D：スプレーや殺虫剤（蚊、ゴキブリなど）、空気清浄機、接着剤、ヘアスプレーなどを使用した後、4時間程度全室換気・通風していません。

【警告】：上記の場所と環境で取り付けの時、製品破損、製品寿命低下、誤警報（一酸化炭素がない場合アラーム音を鳴る）、またはブザーの鳴き声などの誤作動の原因および正常に警報できない、さらには廃棄されるおそれがあります。
【警告】：上記の場所と環境で使用した後動作できない場合は、保証の対象外です。

特別ご説明：不完全燃焼のCOがなくても、次のような場合に警報音が鳴ることがありますが、しばらくすると鳴りやみます。

- スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合、また、アルコール類やくん煙式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- 調理中の煙や水蒸気などが長時間警報器にかかった場合。
- 石油ストーブを長時間換気せずに使用した場合。
- このような場合は、換気扇などの換気装置を作動させ、さらにドアや窓を開けてしばらく換気を続けると、警報は止まります。

5.4 製品に付属する電気化学式センサの有効期間は3年間ですが、使用環境によってはセンサの消耗が早くなる可能性があり、実際の耐用年数は2年とは限りません。この製品を購入した後、定期的に（毎月推奨）、製品動作確認（点検）を行ってください。

六、保証規定

この製品の保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

説明：取扱説明書に従った通常なご使用状態において、保証期間内に故障した場合は、無償交換させていただきます。

保証期間内においても、次のような場合には保障対象外です。

- 取扱上及び使用上の誤りによる故障及び損傷。
- 不当な改造や修理による故障および損傷、不当な改造や修理による故障および損傷。
- お買い上げ後の輸送、移動、衝撃、落下等による故障及び損傷。
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害や電磁波等による故障及び損傷、電磁波等による故障及び損傷。
- 油汚れ等による機器の機能劣化、油汚れ等による機器の機能劣化。
- 取付場所が不適切で、調理の煙・湯気・油煙等、住戸環境による警報に取付場所が不適切で、調理の煙・湯気・油煙等、住戸環境による警報機のセンサーが異常に消耗された場合。

センサーの耐用年数は2年です。消耗品で、使用環境によって消耗速度が異なります。

正常に動作することを確認するため、定期点検を必ず行ってください。

一酸化炭素警報器の保証書

本製品のご購入日から1年間保証いたします、使用中、製品の使用について何か不明なところまたは御意見がございましたら、注文履歴より購入先迄ご連絡ください。

「アカウントサービス」>「注文履歴」>「販売元」>「質問する」

保証書

品 名	一酸化炭素警報器
品 番	J108
保 証 期 間	お買い上げ日より1年
対 象 部 分	一酸化炭素警報器本体のみ（付属部品は対象外です。）
お買い上げ日	年 月 日
お 客 様	ご住所〒
	お名前
	電話番号
販売元(店名)	

※保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。

※ご販売店様へこの保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡しください。

お問い合わせフォーム

商品の使用上、何か(下記の例)がございましたら、アフタサービス公式LINEを追加して、公式LINEより対応させていただきます。

- 電源入らない
- 反応が怪しい
- テストして数値0のまま

スタッフ一同、全力でごサポートさせていただきます。

